

授業科目	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ					実務家教員担当科目	○				
単位	2	履修	選択	開講年次	3	開講時期	後期				
担当教員	今村 浩司										
授業概要	<p>本講義では、精神の構造と働き、ライフサイクルにおける精神保健、精神保健活動と精神保健対策治療的アプローチ、法律などについて解説する。その際、精神保健の全体像をパワーポイント、ビデオなどを用いて説明する。受動的講義だけでなく、精神保健福祉領域での相談援助や活動経験を有する実務家教員が、可能な限り具体的な事例等を提供していき、グループ・ワークによる演習・成果発表など積極的授業参加も組み込み、より学生の理解を深めるよう工夫する。</p> <p>なお、授業の運営方法については、基本的には対面講義であるが、状況に応じてウェブ等を使用する講義になる場合もある。</p>										
授業形態	対面授業				授業方法						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>1. 精神の構造と働きおよび、ライフサイクルにおける精神保健について理解し、内容を説明できる。</p> <p>2. それぞれの生活の場における精神保健と病理について理解し、内容を説明できる。</p> <p>3. 精神保健に関わる健康障害、精神保健活動と精神保健対策について理解し、内容を説明できる。</p> <p>4. 精神保健のアセスメント方法と治療的アプローチについて理解し、内容を説明できる。</p> <p>5. 精神保健及び福祉に関する法律について理解し、内容を説明できる。</p> <p>1. 2. 3. 4. 5. のいずれの項目も一定のレベルで達成できている。</p>										
理想的レベル	<p>1. 精神の構造と働きおよび、ライフサイクルにおける精神保健について理解し、内容を説明できる。</p> <p>2. それぞれの生活の場における精神保健と病理について理解し、内容を説明できる。</p> <p>3. 精神保健に関わる健康障害、精神保健活動と精神保健対策について理解し、内容を説明できる。</p> <p>4. 精神保健のアセスメント方法と治療的アプローチについて理解し、内容を説明できる。</p> <p>5. 精神保健及び福祉に関する法律について理解し、内容を説明できる。</p> <p>1. 2. 3. 4. 5. のいずれの項目も十分に達成できている。</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法				評価割合（数値）			備考				
試験				65%							
小テスト				0							
レポート				15%							
発表（口頭、プレゼンテーション）				0							
レポート外の提出物				0							
その他				20%			講義中の発言・質問・参加姿勢等				
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE21516J

学習課題（予習・復習）		1 回の目安時間（時間）
教科書該当箇所、配布した資料を確認しておく		4
授業計画		
第 1 回	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ（1） 災害被災者の精神保健 犯罪被害者等の支援 について解説する。	
第 2 回	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ（2） 自殺予防 身体疾患に伴う精神保健 について解説する。	
第 3 回	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ（3）（外部講師） 貧困問題と精神保健 社会的孤立 について解説する。	
第 4 回	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ（4） 性的マイノリティと精神保健 多文化異文化と精神保健 について解説する。	
第 5 回	精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ（5） 反復違法行為と精神保健 高齢化と精神保健 について解説する。	
第 6 回	精神保健に関する発生予防と対策（1） 精神保健と予防概念 アルコール関連問題に対する対策 について解説する。	
第 7 回	精神保健に関する発生予防と対策（2）（外部講師） 薬物依存について ギャンブル依存対策 について解説する。	
第 8 回	精神保健に関する発生予防と対策（3） うつと自殺防止対策 子育て支援と暴力、虐待予防 について解説する。	
第 9 回	精神保健に関する発生予防と対策（4） 認知症高齢者遺体する対策 発達障害者に対する対策 について解説する。	
第 10 回	精神保健に関する発生予防と対策（5） 社会的ひきこもりに対する対策	

	災害時の精神保健に対する対策 について解説する。
第 11 回	地域精神保健に関する偏見や差別 関連法規 人材育成 偏見差別の課題 について解説する。
第 12 回	精神保健に関する専門職種 専門職種と他職種連繋 当事者会や職能団体 について解説する。
第 13 回	精神保健に関する行政機関 国・都道府県・市町村の役割 その連携方法 について解説する。
第 14 回	諸外国の精神保健活動の現状 世界の精神保健について WHO などの国際機関 について解説する。
第 15 回	我が国における精神保健の課題 課題と対策、展望 について解説する。 総まとめ
テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編 最新精神保健福祉士養成講座 2 「現代の精神 保健の課題と支援」中央法規出版 最新版
参考図書・ 教材／デー タベース・ 雑誌等の紹 介	講義中に適宜資料を提示する。必要に応じてパワーポイント資料を配布する。
課題に対す るフィード バックの方 法	授業貢献度・授業課題レポート、定期試験をもって総合評価する。総合評価の比率は上記に示して いる。 授業課題レポートに関しては、授業の中で指示する。
学生へのメ ッセージ・ コメント	本講義は精神医学的な基礎理解を必要とする場合があるので、2 年次後期開講の「精神医学と精神 医療」の科目を受講しこの授業に臨む、もしくは在学中に受講をしていくことが望ましい。 講義では、理解を深めるためにグループワークなどを実施する場合がある。 講義に関連した参考になる書籍を図書館などで探して読むと、さらに理解が深まる。 精神保健及び福祉に関連のある社会問題に関心を持ち新聞、テレビ等のマスコミ報道から最新の 情報を入手するよう努めてほしい。

